

07L143
07L371

Unit39

A それぞれの speech unit では主に1つの声調移動（上がった、下がった）というのがある。

B 下降調や上昇調はたった1つの言葉（1つの音節だけ）もしくは speech unit の最後のいくつかの特に目立たない音節でも続けることができる。

C 下降調を使うことは speech unit がその情報が 'news'（聴き手が予測していないこと）を示している。上昇調は speech unit の情報が 'not news'（話し手や聴き手がすでに知っていること）を示している。これは、'news' 'not news' をこの方法で区別することは聴き手が何を言われているかを理解するのに役立つのである。

D 私たちは下降上昇調の代わりに上昇調を情報が 'not news' であることを示すのに使うことができる。

※ 普通は上昇調か下降上昇調を使うかは気にしない。

Unit 40

A くだけた口語では、言ったことを強調したり、より明確にしたりするために、文末に tails を用いることがある。

※ tails は名詞または名詞句から成り立っている。そして、tails は以前に言及した内容について述べたり、その内容を強調したりするものなので、たいてい上昇調である。

B tails には this, that, these, those, またはそれらの単語で始まる句から成り立っているものがある。このような tails はたいてい言及している内容を強調している。

C また B の他に、誰について言っているのか、また何について言っているのかを明確にするような tails もある。

(例) 「誰について」を示す He's a good cook, Nigel.

「何について」を示す I can't stand it, cigarette smoke.

D 別の tails の種類に、言ったことを再び強調するために 主語+述語 を繰り返す tails がある。これもまた上昇調である。

E 降下調になる tails もある。例えば、誰について、また何についての疑問なのかをはっきりさせるために、wh-疑問文につけ足される tails など。